

8月6日

学校でのウイルス対策に役立てて

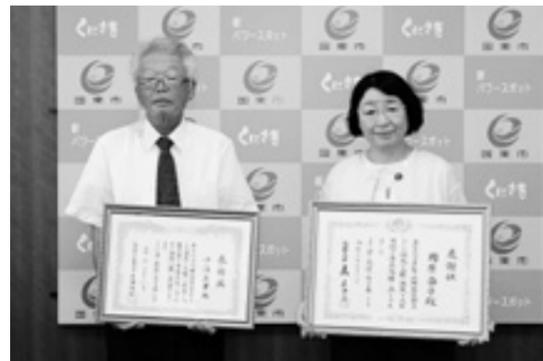
萱島酒造(国東町綱井)の萱島徳常務取締役が市役所を訪れ、市に消毒用高濃度エタノール60本(500ml入り)を寄付しました。本品は、同酒造の関連会社の萱島酒類(竹田市)で製造されたものです。萱島常務は「学校での新型コロナウイルス対策に役立ててください」と述べていました。



7月31日

人権擁護活動に対して感謝状

市役所で、市の人権擁護委員を退任された岡原益子さん(国東町浜)と小俣義幸さん(国東町綱井)に、それぞれ法務大臣感謝状と大分地方法務局長感謝状が贈られました。岡原さんは「人権に対する貴重な経験ができました」、小俣さんは「今後も、地元の人権教育に貢献したいです」と話していました。



7月29日

ウエイトリフティングに挑戦

国東市ウエイトリフティング場で、国東小学校の5年生と6年生が参加して「ウエイトリフティング体験学習」が行われました。国東高校ウエイトリフティング部の土居雅典教諭と部員の指導のもと、児童がバーベル上げに挑戦しました。6年生の松林璃子さんは「初めての体験で楽しかったです」と話してくれました。



7月28日

マイナンバーカード申請を会社で受付

株式会社テオリック(国東町小原)で、マイナンバーカード申請の出張受付が行われました。これは、カード取得を希望する従業員が多い同社から市に要望があり、実施されたものです。従業員の青木純子さん(国東町小原)は「手続きは思ったより早くて、簡単でした」と感想を述べていました。



8月6日

高校教育の条件整備を要請

国東高等学校・双国校支援連絡協議会(会長:三河明史市長)の代表団が大分県教育庁を訪問し、高校教育の条件整備に関する要望書を提出しました。三河会長は工藤利明県教育長に対して、国東高校における難関大学等への進学指導の充実や、双国校生が卒業するまでの手厚い支援などを要望しました。



8月6日

児童の力作を展示

国東市武蔵児童館の児童約20名が毛糸を使って「さ吉くん人形」を製作し、武蔵総合支所の玄関ロビーに展示しました。人形は高さ約1.2mで、製作に2か月を要しました。人形には、疫病を退散させると伝わる妖怪・アマビエのペンダントもあしらっています。
※現在も展示中です。



7月29日

モンベルが防護服を寄贈

市と包括連携協定を締結しているアウトドア総合メーカーの株式会社モンベル(大阪市)より、新型コロナウイルス対策の簡易防護服2,200着が市に寄贈されました。市内の医療や福祉の現場で活用するほか、市に備蓄して災害時等に役立てます。



7月29日

自衛官募集活動をボランティアで

市役所で、令和2年度国東市自衛官募集相談員の委嘱式が行われ、三河市長から6名の相談員に委嘱状が手渡されました。相談員の皆さんは、自衛官志願者に対する情報提供や、自衛隊大分地方協力本部の募集活動の援助等をボランティアで行います。

